



全国の自治体で下水道事業に携わる職員に聞いた！

【老朽化対策を止めずに進めるには？】
約8割が工事中の処理継続に不安も、
仮設対応の情報・予算確保は道半ば

下水道法改正と老朽化対策・広域化に関する実態調査

Research Outline

調査概要

調査機関

セイスイ工業株式会社

調査名称

下水道法改正と老朽化対策・広域化に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

2026年7月21日～同年7月22日

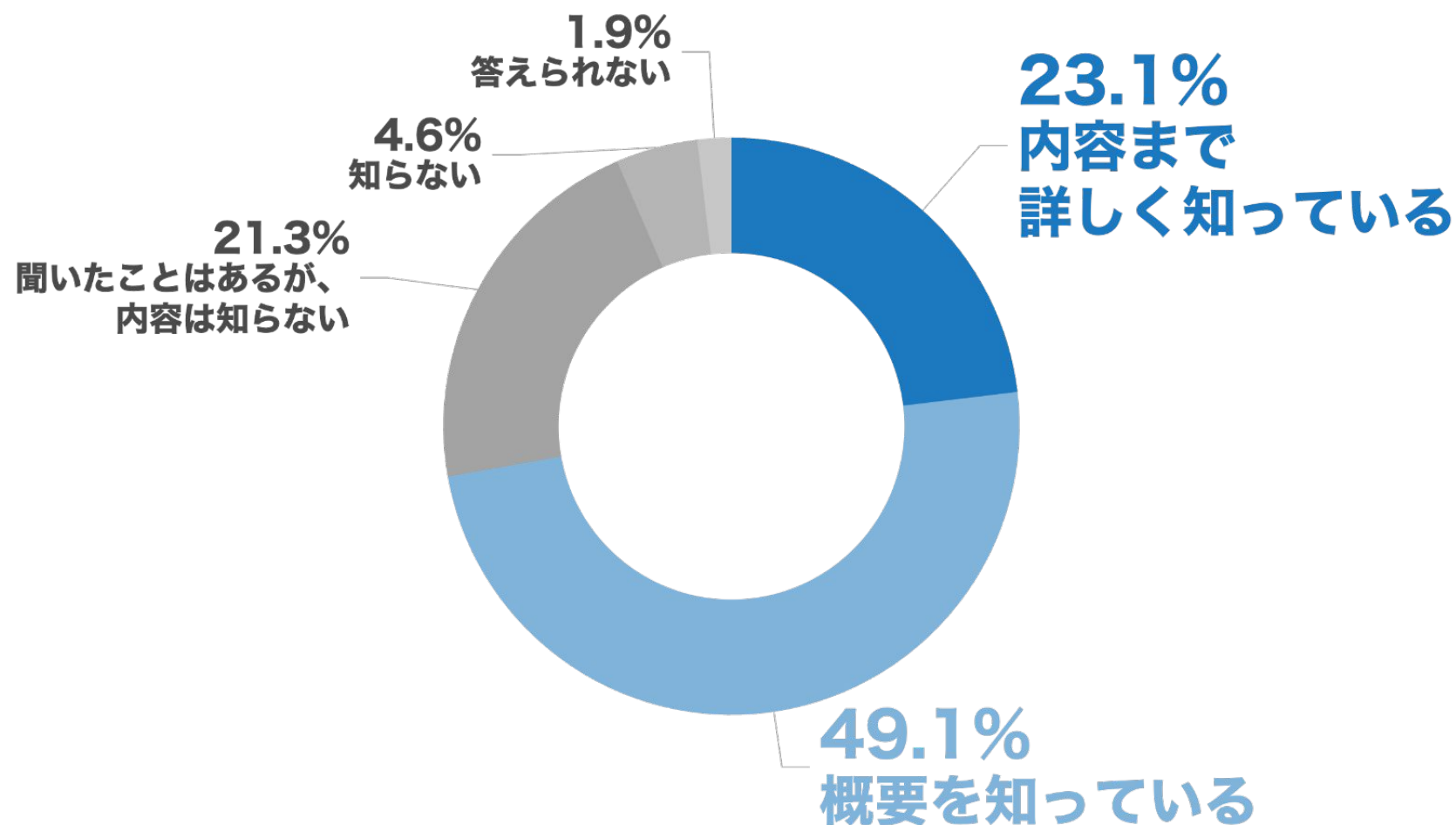
有効回答

全国の自治体で下水道事業（計画・整備・維持管理など）に携わる職員 108名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1

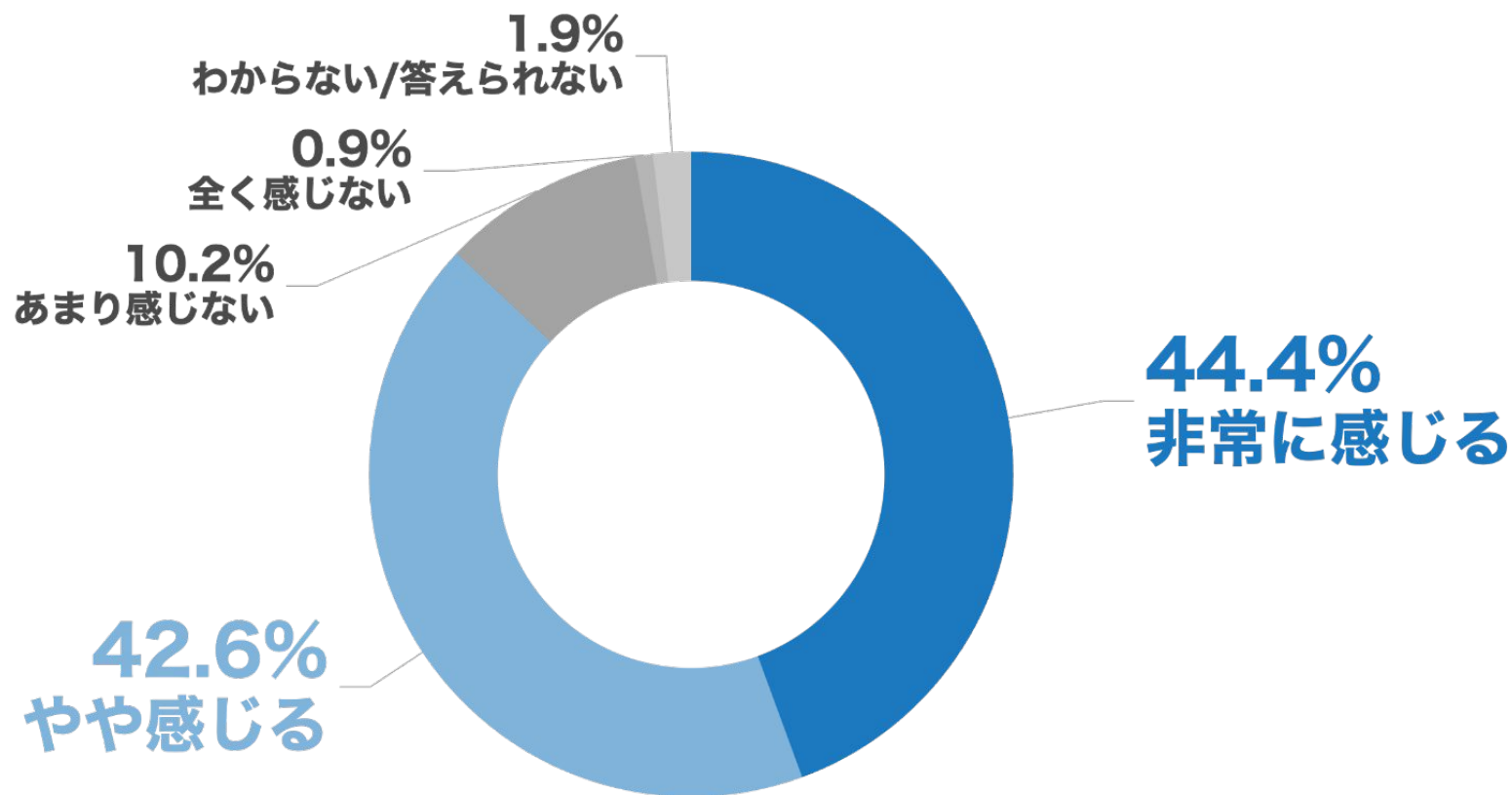
あなたは、2026年の下水道法等の改正について、内容をどの程度知っていますか。



自治体職員の7割以上が、
2026年の下水道法改正の内容を
認知しています。

Q2

あなたは、お勤め先の自治体において、下水道管路や処理施設の老朽化が課題になっていると感じますか。

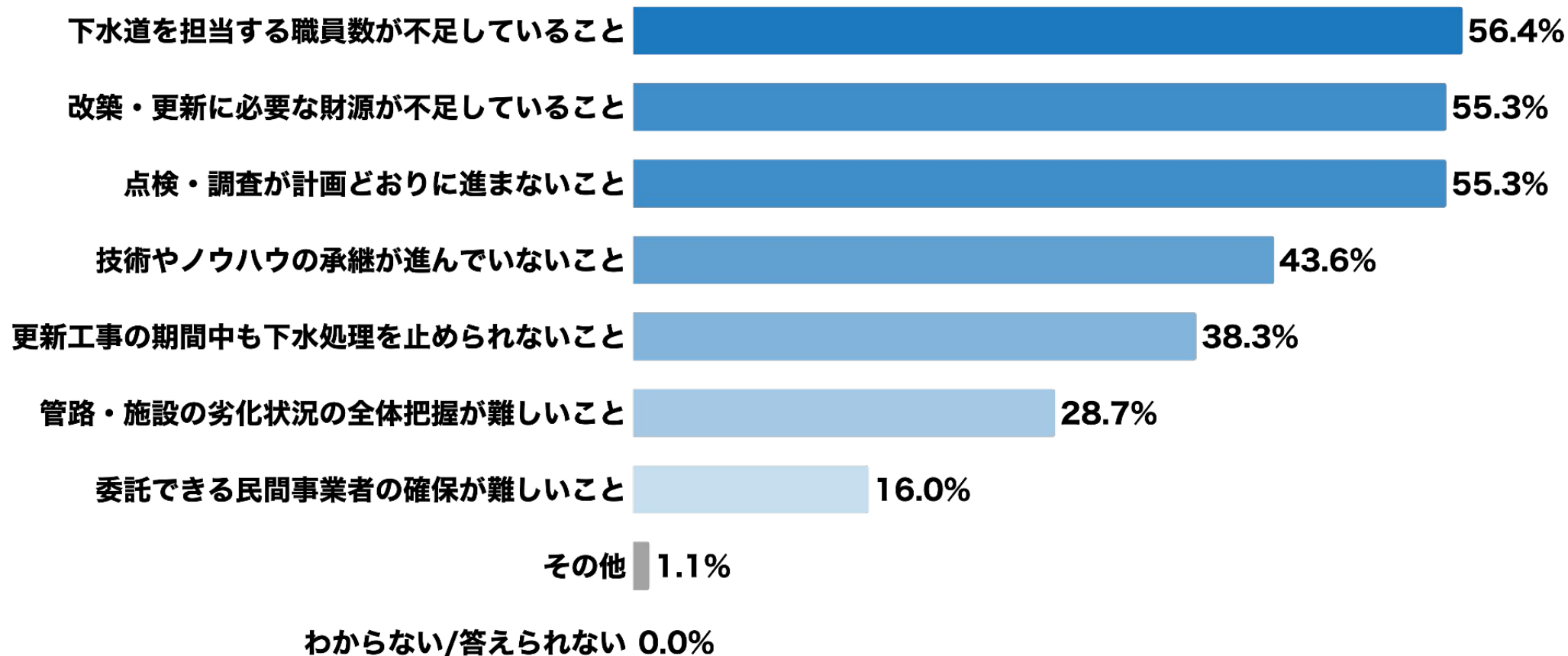


下水道の老朽化を「課題」と感じている自治体職員は87.0%に上り、そのうち「非常に感じる」と回答した割合も44.4%に達しています。

Q3

*Q2で「非常に感じる」「やや感じる」と回答した方への質問

下水道の老朽化に関して、具体的にどのような課題を感じていますか。 (複数回答)



老朽化の具体的な課題としては、「職員数不足」が56.4%で最も多く、次いで「財源不足」と「点検・調査の遅れ」がそれぞれ55.3%となっています。

調査期間: 2026年7月21日～同年7月22日

下水道法改正と老朽化対策・広域化に関する実態調査 | n=94

Q4

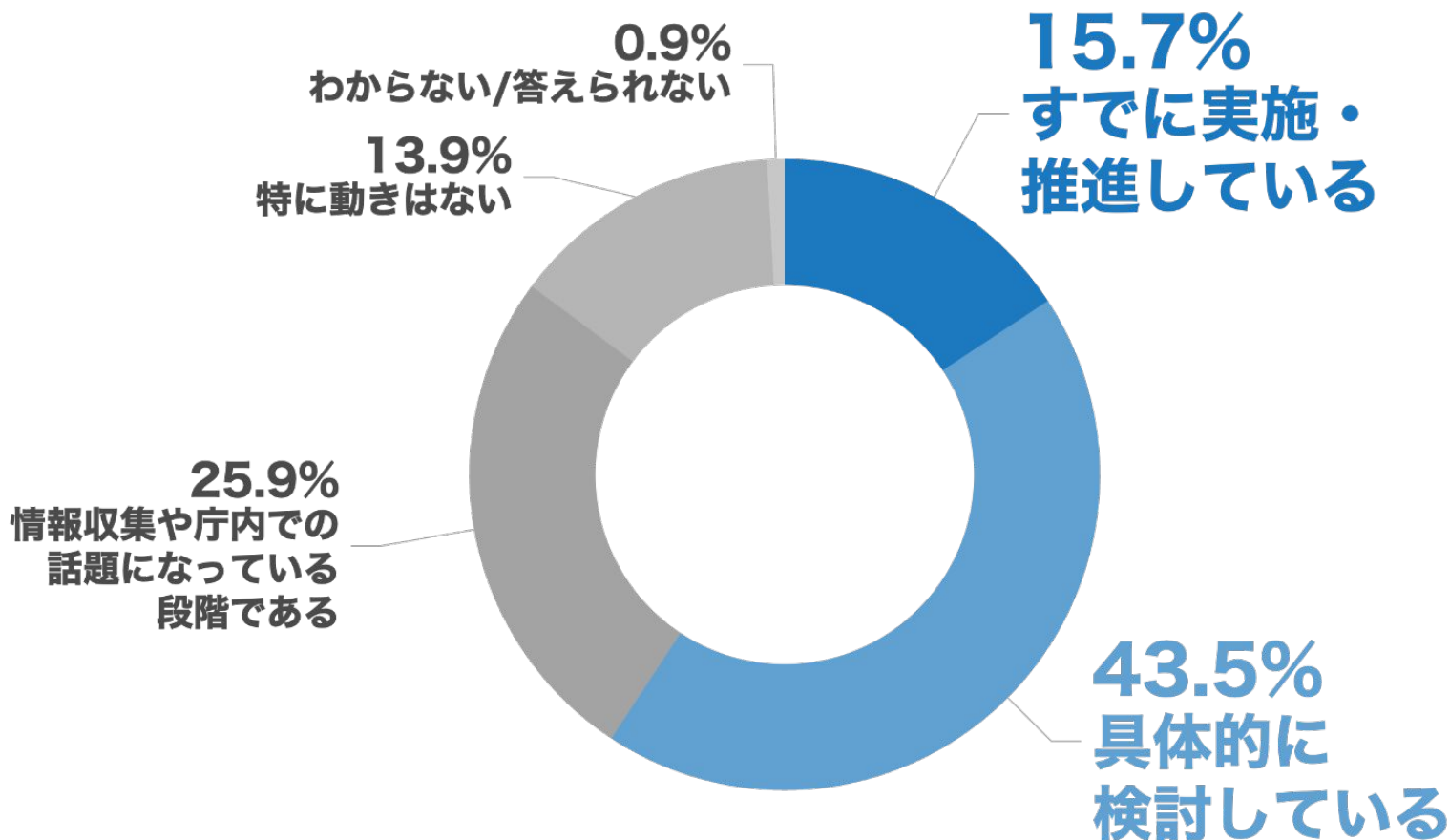
*Q3で「わからない/答えられない」以外を回答した方への質問

Q3で回答した以外に、下水道の老朽化に関して感じている課題があれば、自由に教えてください。(自由回答)

- 改修への理解が取れず、予算を確保できない。
- つまりや錆が浮いてくる。近所ではよく破裂事故など起きている。
- 老朽化してるのに、傷つきにくい構造と見えないからこそ、工事が後回しになってしまうこと。
- 内面被覆工法が主流だが、これができる業者が限られる。
- 人員不足に尽きる。契約発注しても不調に終わる工事が多くなった。

Q5

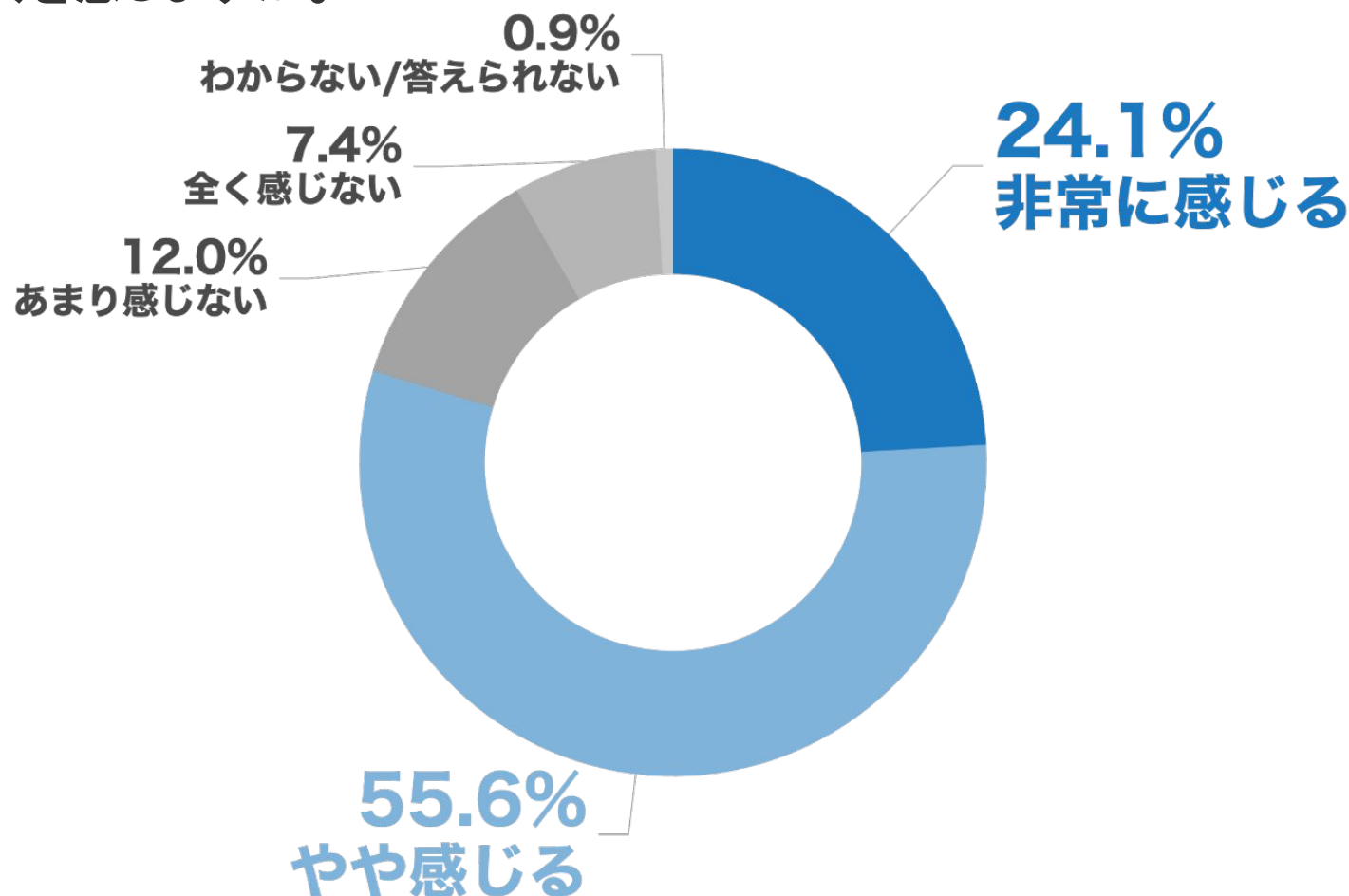
あなたのお勤め先の自治体では、下水道事業の広域化・共同化や、処理施設の統廃合・ダウンサイジング（規模の適正化）に向けた動きがありますか。



広域化・統廃合については、自治体職員の約6割が「実施・推進」または「具体的に検討」の段階にあります。

Q6

あなたは、老朽化対策や広域化・統廃合に伴う改修・更新工事の期間中に、下水処理を止めずに継続できるかどうかについて、不安を感じますか。

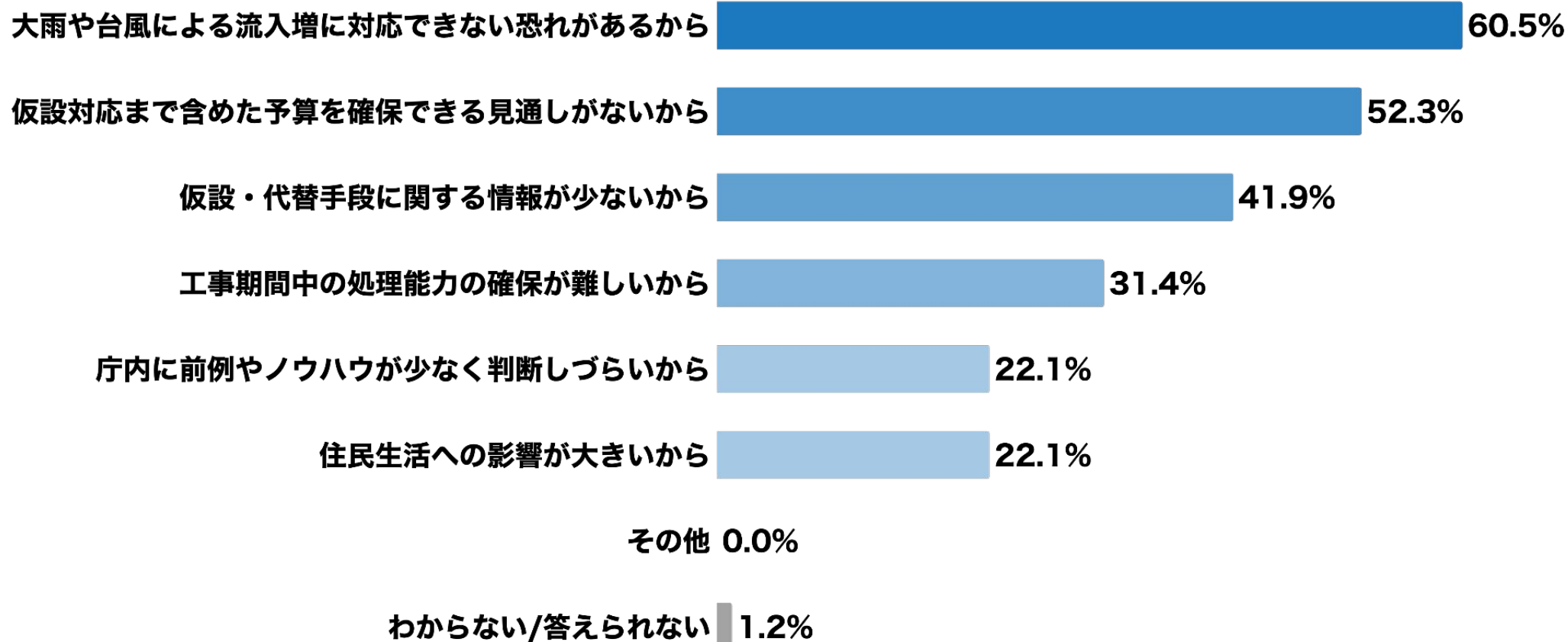


改修・更新工事期間中の処理継続について、不安を感じている自治体職員は 8割弱を占めています。

Q7

*Q6で「非常に感じる」「やや感じる」と回答した方への質問

改修・更新工事の期間中に、下水処理を止めずに継続できるかどうかについて、不安を感じる理由を教えてください。（複数回答）



処理継続に不安を感じる理由としては、「大雨・台風による流入増」が60.5%で最も多くなっています。

Q8

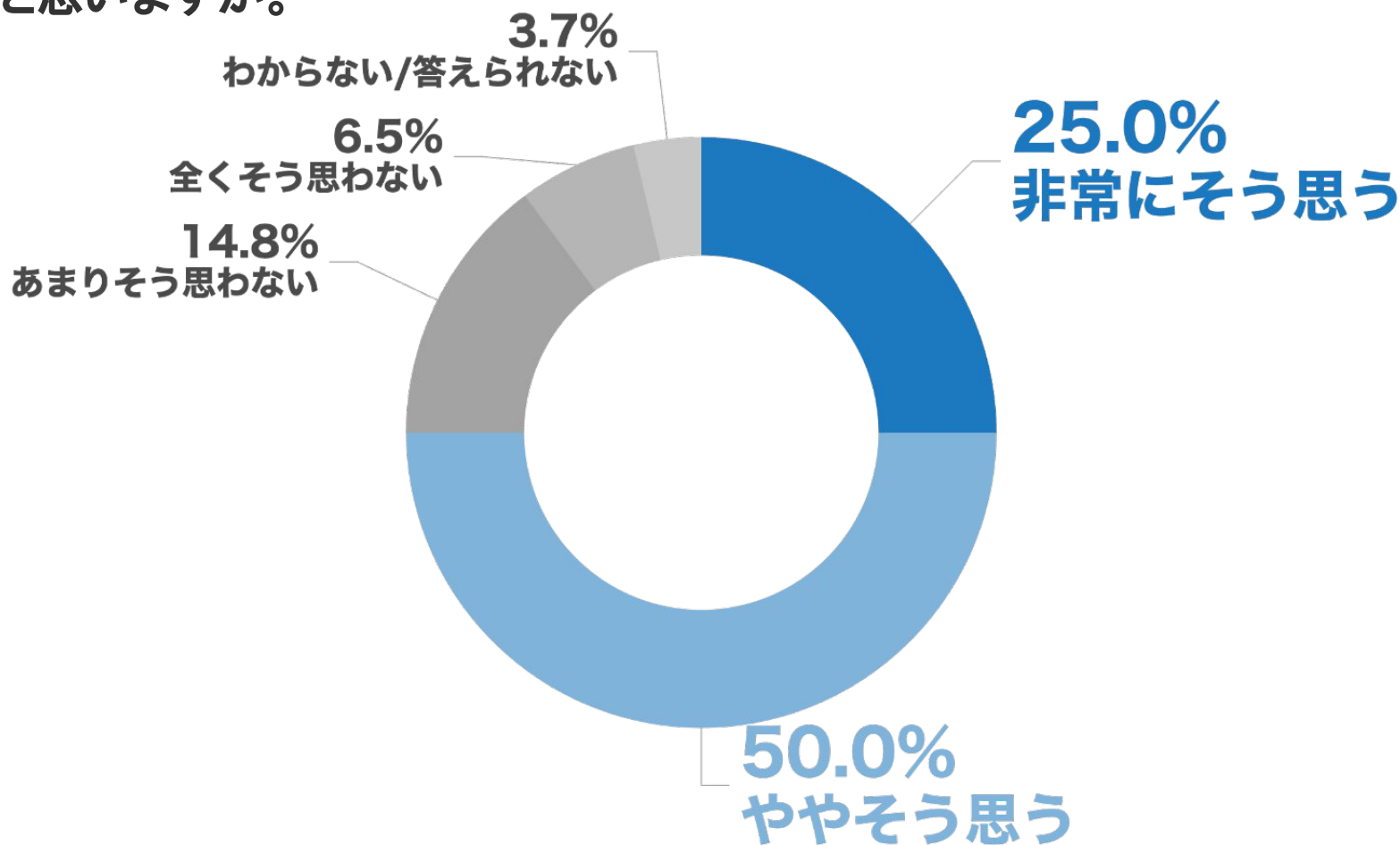
*Q7で「わからない/答えられない」以外を回答した方への質問

Q7で回答した以外に、下水処理を止めずに継続できるかどうかについて不安を感じる理由があれば、自由に教えてください。(自由回答)

- 工事を行うに当たってバイパス等の工事を行うことに予算が少ないこと。
- 連日暑いのでまとまった工事ができず完成が遅れる。
- 補助金で十分な措置が確保できない点。
- 生活に密着しているが故に止めることは難しい。とはいえ、新しい管を入れるという工事をすればそれだけコストがかかるので悩ましい。
- 代替経路に不足が予想される。

Q9

あなたは、下水処理を止められない改修・更新工事や緊急時への備えとして、仮設水処理設備のような一時的な処理手段を活用したいと思いますか。

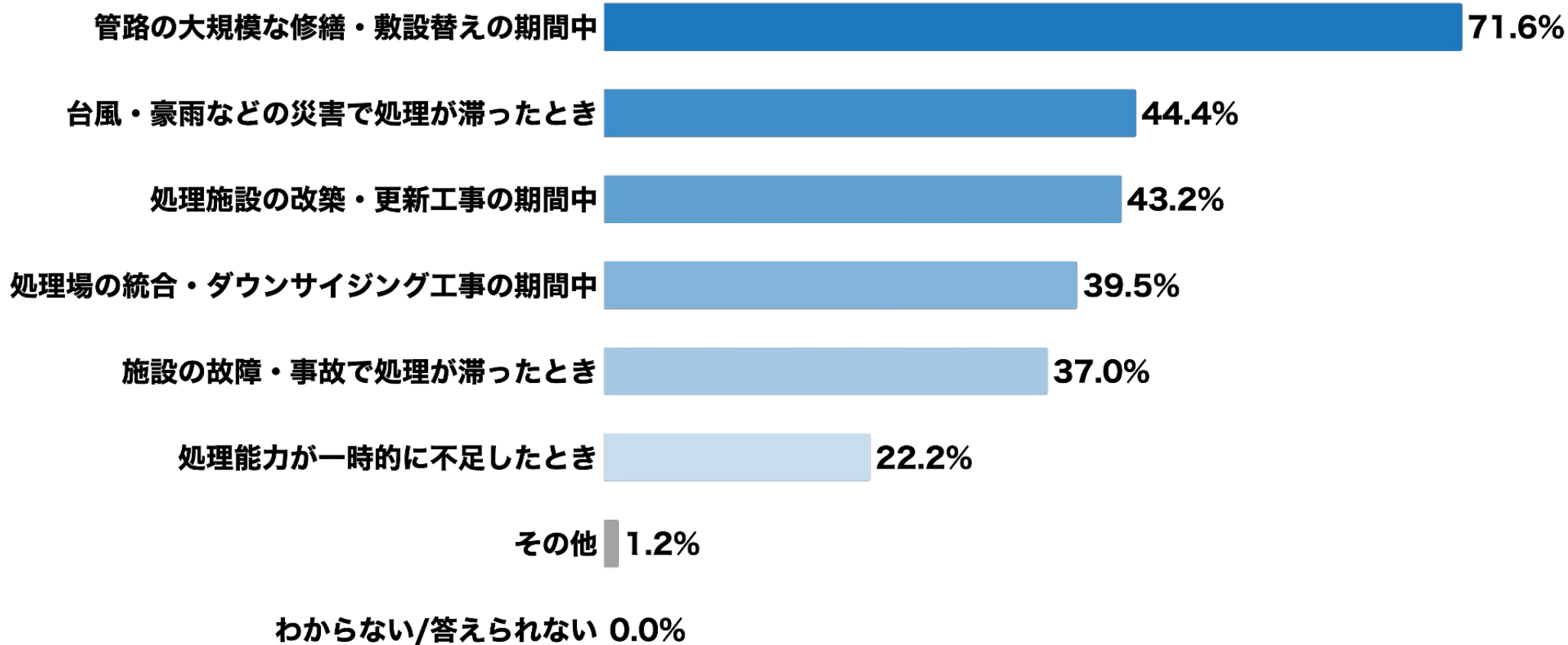


自治体職員の75.0%が、仮設水処理設備のような一時的な処理手段の活用に向向きの姿勢を示しています。

Q10

*Q9で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方への質問

**仮設水処理設備のような一時的な処理手段を、
どのような場面で活用したいと思いますか。(複数回答)**



「管路の大規模な修繕・敷設替えの期間中」が
71.6%と突出しており、「災害時」も 44.4%で
上位に挙がっています。

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理可能

全国2,650件の豊富な実績レンタル用水処理機器を利用した仮設水処理プラントで解決
他社ではできない排水処理・汚泥処理、2,650件の豊富な実績に基づく技術力で解決します。本設でも使用されている水処理機器を組み合わせた仮設水処理プラントをレンタルしています。工場や土木工事現場、下水処理場、発電所の排水・汚泥処理施設のメンテナンス時や機器トラブル時の代替処理、災害復旧など様々なご要望に対応します。
排水や汚泥の処理、水処理機器の補修や点検、トラブル時に、こんなお困りごとはありませんか？

- ・大量の廃水や汚泥の処理に困っている
- ・処理方法を模索したが適切な方法がわからない
- ・排水や汚泥処理のコストを下げたい

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理します。

Contact

お問い合わせ

企業名

セイスイ工業株式会社

MAIL

seisui-kk@ideatechbaynich.jp

WEB

<https://seisui-kk.com/>

会社住所

〒265-0045

千葉県千葉市若葉区上泉町424-18

ちばリサーチパーク内